

【成功事例】 A社の健康経営宣言

私たちA株式会社は、人々が安心できる社会・暮らしを築くため、自らのテクノロジーを活かし、様々なニーズにこたえるソリューションを創出していきます。

私たちは、従業員の健康が創出活動の重要な源であるにとらえ、事業収益の拡大は目的ではなく、従業員の心身の健康管理と豊かな暮らしに寄与する手段であると考えています。

そこで、従業員が健康を武器に新たな創出活動に邁進することができるよう、従業員一人ひとりの健康の維持や増進、活力の向上を重要な経営課題とし、健康経営を実現するための取り組みを推進することをここに宣言します。

健康経営を通して従業員の物心両面の幸福を追求することで、お客様と社会に「安全で快適な社会生活から得られる心の豊かさ」を提供し、進化し続ける企業となります。

A株式会社 代表取締役社長



【成功事例】 B社の健康経営宣言

当社では、従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指してまいります。

具体的な取り組みとして、毎日の健康生活をサポートするプログラムづくり、メンタル面から健全な生活を送れるようストレスチェックの強化、余暇の推奨、スポーツ懇親、子育て支援など、従業員の健康に対して様々な取り組みを実施してまいります。

B株式会社 代表取締役社長



【失敗事例】C社の健康経営宣言

C社健康経営宣言

C株式会社は、社員一人ひとりが公私ともに充実した毎日で、元気に働ける職場を目指して、健康づくりのため下記の事項に取り組みます。

1. 「健康経営宣言」を社内外に発信します。
2. 法令を遵守します。
3. 定期健康診断を実施し、実質受診率100%を目指します。
4. 健康づくり担当者を設置します。
5. 社員の健康課題の把握と、必要な対策の検討を行います。
6. 喫煙率低減の目標設定・実行します。
7. 社員の心と身体の健康づくりに貢献します。

C株式会社 代表取締役社長

